

令和6年度 第2回 名張市空家等対策推進協議会 会議録

○会 議 名：令和6年度 第2回 名張市空家等対策推進協議会

○開催日時：令和6年8月23日（金） 午後3時から午後4時40分

○開催場所：市役所2階 庁議室

○職氏名

＜協議会委員＞

（順不同）

北川	裕之	会長
森	孝司	副会長
田畑	純也	委員
村上	真吾	委員
岩田	和恵	委員
井上	隆稔	委員
森本	景二	委員
中川	久美子	委員
八木	美由起	委員
岩見	勝由	委員
東	敦子	委員

＜事務局ほか＞

名張市	都市整備部		伊集院	時仁	部長
	〃	住宅室	西岡	啓子	室長
	〃	〃	渡邊	秀樹	係長
	〃	〃	福永	智之	室員

○会議の公開又は非公開の別
公開

○傍聴人の数
1名

○報道機関
0名

○議事

- (1) 「(仮称)第2次 名張市空家等対策計画」の策定に向けた取組について
(報告)【資料1】
- (2) 「(仮称)名張市空家等管理活用支援法人」の指定に向けた取組について
(報告)【資料2】
- (3) 令和6年度 空家等助成及び取組について
(報告)【資料3】

○会長挨拶

○議事

- (1) 「(仮称)第2次 名張市空家等対策計画」の策定に向けた取組について
(報告)【資料1】

事務局より資料に沿って報告

【質疑応答】

空き家実態調査の対象になる空き家について、抽出方法など教示いただきたい。
(委員)

→名張市上下水道部より、水道における情報（閉栓・1年以上使用実績なし）を基に、前回（平成27年度）に行った実態調査時の空き家情報との重複を除いたもの、などを調査対象としている。ついては、今回の現地調査を行うことで、調査員（民間調査会社へ業務委託）が空き家候補として、名張市へ報告し、最終的に、名張市が空き家と決定する予定である。
(事務局)

説明にあった、空家等管理活用促進区域に関して、名張市から三重県・特定行政庁へ、申請を行い、認可された場合、当該地域の役割について教示いただきたい。
(委員)

→空家等管理活用促進区域の指定にあたっては、名張市が一方的に行うものではない。当該指定にあたっては、地域の実情に合わせた中で、地域と名張市との間で協議した上で、指定に向けた所要の手続きを行っていきたいと考えている。
(事務局)

名張市内15地域のすべてが、説明にあった、観光や、移住・定住に注力した、空家等管理活用促進区域への指定手続きを行うとは思えない。そういった中で、名張市が想定していない地域からの空家等管理活用促進区域へ認可の要望があった場合、名張市の対応方針について、教示いただきたい。
(委員)

→空家等管理活用促進区域の指定にあたっては、名張市が一方的に決めるものではない。一定の考え方を市で持って、地域の方に相談をさせていただき、行政と地域で共同して作り上げるものと考えている。当該指定にあたっては、地域の実情に合わせた中で、地域と名張市との間で協議した上で指定に向けた所要の手続きを行っていききたい。なお、協議結果として、空家等管理活用促進区域の指定手続きを行うこととならない場合があることを了承いただきたい。（事務局）

空家等管理活用促進区域に指定された地域は、支援や空き家対策の方針などにおいて、当該区域に指定されていない地域との差異は生じるのか。（委員）

→名張市の空き家対策に関する方針は、全て同様である。その方針のもと、地域の実情にあわせ、三重県や行政庁の厳しい審査の上で、空家等管理活用促進区域に指定された地域は、（例えば）観光や、移住・定住に対して、注力してしているという考え方となる。（事務局）

空家等管理活用促進区域に指定する地域の考え方は、現行の15地域という認識でよいか。（委員）

相談させていただきたい。（事務局）

空家等管理活用促進区域に指定されることに対するメリットについて、教示いただきたい。（委員）

住宅の建て替えの際、セットバックなど、関係法令に基づく規制の対象外となることにより、景観を優先出来るといったメリットがある。（事務局）

名張地域で、現在、国等とともに、事業を推進している、河川改修も含めた既成市街地の活性化や、観光に特化した空家等管理活用促進区域の指定に向けた申請手続きを行ってはどうか。（委員）

名張市として、空家等管理活用促進区域の指定に対する基本的な方針に基づき、地域の実情に合わせた協議をさせていただきたい。（事務局）

かわまちづくりの一体化事業も含めるのであれば、関係機関との連携が必須となってくる。（委員）

関係機関と広域的な連携をお願いしたい。（委員）

名張市の魅力は畑が多いことだと思っている。名張市には耕作放棄地が多く見受

けられる一方、曽爾地域などにおいては、農業が出来る場所を求めた若年層の移住があるときいている。農業のみでは、収入面で生活を維持することは困難であることから、移住支援を実施するにあたっては、収入面であったり、医療においても、必要な取組を行う必要があると考える。（委員）

なぜ取壊さなくてはならない危険な空き家が残っているかということ、空き家に関する法律、例えば敷地内への立入りなどの緩和が出来れば良いと思う。（委員）

→令和5年12月に空家等対策の推進に関する特別措置法の改正があったように、日本全体でも話題となり、課題としての機運も高まっている。このことから、引き続き必要となる空き家対策に取り組んでいきたい。（事務局）

名張市全体で子どもが減ってきている。また、各小中学校も統廃合が進んでいる状況である。名張市においては、無責任に、移住・定住の啓発を行う一方、通学可能な小中学校が近隣にないという状況にならないよう、取り組んでいきたい。

また、教育面について、「なばり学」等実施されているが、「地元が良いな」と思ってもらえたら将来リターンに繋がるかもしれない。ソフト面でも取り組んで欲しい。（委員）

→あくまで現状についてのお話だが、名張市では少し前まで年間500～600人の子どもが生まれていたが、令和5年には330人であり、コロナ禍の影響もあり危機的という言葉では表現できない状況になっている。（会長）

名張市の空き家対策について、課題や計画、優先順位はないのか。
予算がない中で、柱になるものがあれば委員全員で意見を出し合い、同じ方向を向いていける。そういったことを決めて欲しい。（委員）

→今回の協議会では、そういった点も含め、委員の皆さまよりご意見をいただくことで、整理を行っていきたい。

次回、第3回 名張市空家等対策協議会において、整理した点を踏まえて、力の入れるポイントなどをお示しし、またそれぞれのお立場からご協議いただきたい。（事務局）

→今、まさに来年度の予算編成の議論中であり、限られた財源をどこに投入するのかが大事です。移住と絡めた空き家対策に比重を置くのか、それとも移住と切り離して、地域住民に向けたリノベーション支援といった空き家対策が良いのかも議論をさせていただいている。今後お示しをしていきたい。（会長）

いろいろな個々の要望を聞く時間はないし、人も足りていないので、皆でベクトルを合わせていけるよう、スローガンがあれば良いのではないかな。（委員）

→事務局より、次回の名張市空家等対策協議会において、何か提案をさせていただきたい。（事務局）

（２）「（仮称）名張市空家等管理活用支援法人」の指定に向けた取組について
（報告） 【資料２】

事務局より資料に沿って報告

名張市社会福祉協議会で生活困窮者の自立支援を行っている中、生活困窮者自立支援法の一部が改正され、その概要説明で空き家の数が増えていると紹介されていた。福祉の相談と空き家の活用はリンクして話が進むと思うので、支援法人には関心を持っている。説明を聞くと、指定の条件が厳しいように思う。条件を満たす団体に当てはあるのか。（委員）

→今現在、市内で２つの団体より、相談を受けている状況である。ついては、名張市社会福祉協議会と空き家対策も含め、引き続き、相談をさせていただきたい。（事務局）

支援法人が提出する書類の内、「名張市に滞納がない証明書」とあるが、「全国的に滞納がない」とする方が良いのではないかな。（委員）

→ご説明させていただいた案は、指定管理者制度の募集要項も参考に作成している。いただいたご意見も参考にしながら要綱案を作成していきたい。（事務局）

募集開始時期はいつか。（会長）

→令和６年度において、名張市空家等対策協議会委員の皆さまの協議により、要綱等を策定した上で、令和７年４月より、募集を開始する予定である。（事務局）

個々の事情に踏み込む業務内容だと思うので、何か問題点があった際、相談先が無ければ空き家所有者が不安かと思う。（委員）

→もし、お気づきの点などがあった際には、名張市にご意見など情報提供をお願いしたい。いただいた意見も含め、支援法人指定にあたっては、基準を満たしているか審査していきたい。（事務局）

(3) 令和6年度 空家等助成及び取組について(報告) 【資料3】

事務局より資料に沿って報告

空き家に関する相談会(名張市すまいの活用相談会(令和6年10月19日開催))について、周知のため、相談業務にあたっている、民生委員にイベント開催の啓発など、協力をお願いすると良いのではないかと。民生委員の方々が日々の相談業務において、ひとり暮らしの高齢者を訪問していることから、当日開催のセミナーテーマも当てはまる。(委員)

→民生委員を所管している、福祉子ども部 医療福祉総務室を通じ、協力を相談させていただきたい。(事務局)

令和6年度開催のイベントについての報告に関連して、現在、名張市において、三重県の主催で、近鉄と名張市との連携により、地域居住のツアーを検討している。ついては、11月に開催予定とのことである。今回の開催が、名張市への移住に対する起爆剤になるのではないかと期待している。(会長)

→ツアーの対象地は決まっているのか。近鉄の開発団地になるのではないかと。(委員)

→まだ調整中だが、その地域になる可能性はあると思われる。(会長)

引き続き、近鉄との接点を探って欲しい。(委員)

その他、全体を通じて、ご意見等ありますか。(会長)

空家率について、令和5年に実施された土地家屋統計調査では、前回の平成30年調査時点より上昇することが予想されている。また、名張市内の空き家等住宅の流通価格に関して、安く(値下げ)しないと売れない状況で、経済活動の中から地域経済を支えているが、空き家をどうしたらいいのか悩まれている方もまだ多くいらっしゃる。一軒でも空き家を少なくし、地域に貢献していくためにも、是非、空き家の掘り起こしを進めて欲しい。

また、引き続き、皆さまのお知恵を拝借しながら進めていきたい。(副会長)

ありがとうございます。では、事務局お願いします。(会長)

協議会終了後のお気づきの点など、ご質問について、メールにて9月6日までに

ご連絡をお願いしたい。

また、協議会前に寄せられたご質問と合わせ、会議録とともに、回答を予定している。

なお、次回の名張市空家等対策協議会は、１１月の開催を予定しているので、引き続き、よろしくお願いしたい。

それでは、令和６年度第２回名張市空家等対策推進協議会を終わらせていただきます。本日は、大変お忙しい中ご出席賜りご協議頂きまして、ありがとうございました。
(事務局)

— 閉会 —